



# 大阪医学統計学セミナー 第49回

Osaka Biostatistics Seminar

10月7日 (金)  
17:30~19:30

「NMAR 欠測値データに対する最適なセミパラメトリック  
推測法と 標本調査への応用」

講演者: 森川 耕輔 (大阪大学基礎工学研究科)



場所：  
オンライン開催  
医学系研究科基礎研究棟L階  
医学統計学研究室

参加ご希望の方は、前日までに下記問い合わせ先に  
メールにてお申込みください。

応用上、数理的に理論が整備された理想的な状況下でデータを得ることは難しい。このような問題は時間的・経済的な制約のため、母集団全体から特定のデータのみ抽出、回答拒否によるデータの欠測値の影響により、標本が必ずしも母集団全体を代表しないために生じる。これらのデータを解析する際、通常、データが観測されるかどうか観測されている変数だけで説明可能であることを要求する MAR (missing at random) という仮定が置かれる。近年、これらの仮定を必要としない NMAR (not missing at random) の下でのセミパラメトリック推定量も多く提案されている。本報告では、NMAR におけるさまざまな状況下 (操作変数が存在する場合など) のセミパラメトリック推定量を紹介する。また、標本調査においては包含確率という母集団から標本を抽出する際用いられた確率値をデータとして利用することができる。この包含確率の情報を最大限生かした、セミパラメトリック漸近有効推定量を提案する。また時間が許せば、NMAR の下での多重頑健推定量についても提案する。

お問い合わせ：大阪大学大学院医学系研究科 医学統計学講座  
E-Mail : [office@biostat.med.osaka-u.ac.jp](mailto:office@biostat.med.osaka-u.ac.jp) TEL : 06-6879-3301